

# 成果報告書

(地域部活動推進事業)

新潟県胎内市 地域移行に向けた吹奏楽部合同部活動(拠点校:中条中学校)

所在地	新潟県胎内市
運営主体	胎内市教育委員会 胎内市立中条中学校、胎内市立黒川中学校
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部指導者やICTを活用した合同部活動を実施することを通して、部活動顧問の負担軽減を図る。</li> <li>文化部活動の地域部活動への移行の在り方について検討し、令和4年度から胎内市内吹奏楽部の休日の地域部活動を段階的に実施する。</li> </ul>
団体・組織等の連携	
活動場所	胎内市立中条中学校及び胎内市立黒川中学校 音楽室
活動概要	<p>地域移行に向けた吹奏楽部の合同部活動を、地域人材とICTの活用を主な内容として実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域人材の活用 共通の外部指導者による訪問指導を2つの中学校に対し定期的実施</li> <li>②ICTを活用した練習・指導法の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>サポート動画による練習(タブレットの活用)</li> <li>インターネット上のサポート動画(愛知県吹奏楽連盟制作)を活用した個別練習</li> <li>遠隔地の指導者によるリモート指導(双方向の動画のやりとり)</li> <li>県外(埼玉及び千葉)の指導者からの動画のやりとり(課題→返信)による指導</li> <li>編集による擬似的な合同演奏(ICT機器の活用)</li> <li>個別の学校で練習、録音した曲をICT機器で編集、合奏曲にして地域で発表</li> </ul> </li> <li>③地域移行に向けた検討会議の開催 学校、保護者、地域等の関係者による検討会議で地域移行の方策を検討</li> </ol>

## ○本事業による成果

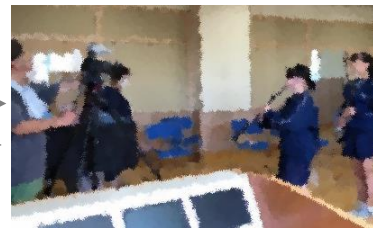
- ICT機器(タブレット等)とインターネット等の活用により、県外の優れた指導者の指導に接することができた。(愛知県吹奏楽連盟によるサポート動画の活用)
- ICT機器(タブレット、音楽用ハンディビデオレコーダー等)を活用して、遠隔地の指導者と動画をやりとりすることにより、専門的かつ具体的な指導が受けられた。(遠隔地の指導者によるリモート指導)
- 地域人材を市内吹奏楽部の共通の外部講師として定期的に派遣したこと(地域人材の活用)により、上記2つと合わせ指導にかかる教員の負担軽減が図られた。
- 学校規模や環境にかかわらず優れた指導を受けられる機会が増え、生徒の意欲が向上した。



タブレットでサポート動画を視聴



県外講師の課題動画の視聴



練習して動画で返信

往復

### ○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合しての合同活動が実施できなかったため、各校で同じ曲を個別に練習し、その録音を編集して擬似的な合奏曲を作ることを目標に合同活動をすすめた。
- ・合奏曲等をはじめ演奏等の発表を地域で積極的に行うことで生徒の活動への意欲、成就感を高めた。



地域指導者による訪問指導

### ○運営上の工夫

- ・地域の外部指導者を中心に県外の指導者と連携したり、市教育委員会から要請して愛知県吹奏楽連盟の支援を得たりするなど、広域的な指導・支援体制の構築に努めた。
- ・練習にタブレットを活用したり、活動に対する意見や感想の集約にwebアンケートを活用するなど、ICTの活用で効率的な運営に努めた。
- ・事業の推進・検討のための委員会に、新潟県吹奏楽連盟、胎内市PTA連絡協議会、中条胎内ローラリークラブ等から参加してもらい、地域での推進体制の構築に努めた。

### ○継続的な運営に関する課題

- ・市内に地域活動の受け皿となる団体がなく、指導者もいないため、現在は市教育委員会が事務局として市外の人材の協力を得て事業を運営している。
- ・ほとんどの生徒は学校所有の楽器を使用し、大きな音の出せる練習場所も限られるため活動場所が学校に限定される。
- ・吹奏楽指導には高度な専門性と指導力が要求されるため、外部指導者への対価もそれに応じたものとなり、費用負担が課題である。

### ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・令和4年度は引き続き、外部指導者やICTを活用した合同部活動をすすめ、部活動顧問の負担軽減、効果的・効率的な活動の在り方について、実践研究をすすめる。
- ・ICTの活用(サポート動画や、県外指導者からのリモート指導)により、生徒の自主的な活動を工夫して、専門性が無くともできる見守り活動への参画など地域からのより広範な支援・参画体制を検討する。
- ・文化活動の積極的な地域の団体や愛好者等と連携して、生徒の活動を支援する環境の整備を図る。

<b>参加者 (予定人数)</b>	胎内市内の吹奏楽部在籍の中学生(1~3年生) 51名(胎内市立中条中学校40名、胎内市立黒川中学校11名)
<b>募集方法</b>	合同部活動として吹奏楽部在籍生徒が参加
<b>指導者</b>	日常指導:吹奏楽部顧問 2名(指導方法の1つとしてサポート動画(愛知県吹奏楽連盟)を活用) 訪問指導:地域の外部講師1名(定期的に学校を訪問) リモート指導:県外指導者2名(オンラインや動画のやりとりによる専門的な指導)
<b>移動手段</b>	合同練習の場合は市バスや借り上げバス、楽器運搬用トラックを利用 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、合同練習は中止
<b>活動費用</b>	指導者謝金:5,100円/時間 合同練習のためのバス、楽器運搬トラック借上料:22,500円/回(※令和3年度は中止) 検討委員会委員謝金:5,900円/回
<b>スケジュール</b>	5月~:外部講師の定期的訪問とサポート動画の活用による基礎的練習。 7月~:県外講師からのリモート課題による練習 9月~:外部講師による合同練習(集合練習ができないため共通の個別練習を各校で実施) 10月~:リモート課題の練習成果動画の返信 12月~:県外講師からの返信(成果動画についての指導)に基づく練習 1月~:合同部活動の合奏曲完成(個別に録音した曲を編集) 2月~:JR中条駅自由通路での合奏曲の発表(録画)
<b>保険加入等</b>	合同部活動として実施したため 日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度適用



【活動の様子(写真添付)】

＜地域人材の活用＞



中条中学校での指導

各学校のレベルに合わせた  
基礎的な指導や合奏指導等の他、  
県外講師とのコーディネートなど

年間を通して休日を中心に  
定期的に訪問



黒川中学校での指導

＜ICTの活用①＞(サポート動画(愛知県吹奏楽連盟制作)の活用＞



愛知県吹奏楽連盟ホームページ



フルート(入門・初級編)の冒頭画面  
12の楽器等で初・中・上級編があり、  
それぞれ6Stepで構成(全216動画)

生徒は自分のレベルにあった動画を選択し、  
視聴して練習



楽器ごとのグループで視聴したり、  
個人で視聴して練習したり  
して活用





<ICTの活用②> (遠隔地の指導者によるリモート指導)

県外講師  
からの  
課題動画  
(1学期)



課題に基づいた練習(生徒)

動画で  
返信  
(2学期)



返信動画を見ての指導動画の作成(指導者)

指導動画  
で個々の  
課題確認  
(3学期)



個々の課題に基づく練習(生徒)

<地域での演奏・発表>



合同部活動の成果  
として両校で  
「ふるさと」を収録  
(12月)



※コロナ感染症の拡大防止のため  
編集で合体して  
擬似的な合奏曲を作成(1月)



JR中条駅の自由通路や観光交流室で放映(2月~3月)